



「清月記楽天市場店」のショップ

なくなったからすぐ買うという人はあまり多くなく、お盆の時期や一周忌、三回忌など、葬儀からすこし間をおいて、落ち着いてから買う人が多い。そうしたなかで同社の初売りバスツアーが、「墓地・墓石の購入を考える、いいきっかけにもなっている」という。

**人気を呼ぶ「樹木葬バスツアー」  
“新しい供養の形”の情報を発信**

初売りバスツアー以上にお客様の関心を集めているのが「樹木葬バスツアー」である。蔵王

町にある曹洞宗寺院の保昌寺に2015年5月、樹木葬型公園墓地「蔵王メモリアルパーク 楓の丘」が開苑。同墓地は、お墓の継承者がいなくても保昌寺が永代供養で甲う墓地として造成した。中央にシンボルツリーとしてカエデの木を植樹し、そのまわりを取り囲むように納骨し、その場所に墓標を設ける。最終的な継承者が亡くなってから33回忌までは墓標の下に納骨し、それ以降は中央のシンボルツリーの元に合祀する。

宗旨宗派は問わず、保昌寺の檀家としてではなく、会員という形で墓地の護持を行なうのが同墓地の特徴だ。開苑から2年弱で14基の墓標が建つが、墓標は250基まで設置できる。さらに、今後、樹木葬が浸透していけば、区画拡大の余地もある。

樹木葬バスツアーは年2回（3月、10月）実施しているが、定員20組40人の募集に対し、毎回、定員を上回る申込みがあるという。「申込みをしていただいた以上は、皆さんに見ていただきましょう」ということでバスの台数もふやし、申込者全員に参加してもらうようにしており、前回（17年10月）のバスツアーには70人以上が参加した。樹木葬に関する問合せは、宮城県内や東北地方にとどまらず、関東などからもあるという。今後も樹木葬をはじめとした新しい供養の形について、清月記グループとしてしっかりと情報発信して、お客様により多くの選択肢を提供していきたい考えである。

また清月記では、2017年12月11日に楽天(株)が運営するオンラインモール「楽天市場」に『清月記 楽天市場店』をオープンし、仏壇や仏具、位牌、墓石などの販売を開始した。これまでのところ清月記 楽天市場店にアクセスされる人のほとんどは「清月記」という会社を知っている地元の人たちが多いという。これは、楽天市場で商品を見て、現物を実店舗に見に行き確認し、その後に楽天市場のカートに入れるという